

令和2年度 家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	家庭基礎（東京書籍）						
副教材等	自作プリント等						

1. 担当者からのメッセージ

- ・実習・体験学習を通して、身近な問題として内容が理解を深め、思考力・コミュニケーション能力を養いましょう。
- ・家庭生活の中の創造性を生かした活動に興味を持ち、造形の力を生ず意欲を持ちましょう。
- ・家庭生活上に必要な知識と技術を身に付け、より良い生活をめざしましょう。

2. 学習の到達目標

- ・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身に付ける。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート 発表 自己評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述、レポート、発表 定期考査の結果 実習製作のコンセプト	学習状況の観察 製作品 レポート、発表 自己評価・相互評価	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、定期考査の結果 自己評価・相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月・5月	自分らしい人生をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブの説明 自分を見つめる 目標を持って生きる 人生をつくる ＊フリーター防止ワークショップ 家族・家庭を見つめる 	○	○		○	<p>a.青年期の生き方について、自立を目指し、家族・家庭の意義や役割、ジェンダーフリーな思考について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b.家庭生活において課題を設定する方法・手段を考える。「性別役割分業意識」についてグループで討論し、積極的に発言し、人の意見をよく聞こうとしている。</p> <p>d.青年期の課題について理解し、女性の社会進出に関心を持ち、相互協力のもと家庭生活・社会生活が成り立っているという知識と理解を深めている。</p>	授業観察 プリント グループワーク 発表
6月	子どもと共に育つ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの育つ力を知る 親として共に育つ 「乳幼児の発達」 ＊DVD視聴 「遊びの発達」 ＊布絵本製作 現代の子育て環境 子どもの権利と福祉 ＊フォトランゲージを用いてのグループワーク 	○	○	○	○	<p>a.子どもの発達と保育について関心を持ち、実践的な活動を通して意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b.子どもの発達と保育について、家族の生活を見つめて課題を見出し、その解決をめざして表現している。</p> <p>c.おもちゃの意義を考え、布絵本を製作することによって、本校の学生の特性である造形力を発揮して製作に取り組もうとしている。</p> <p>d.子どもの発達と保育について理解し、家族・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 作品提出 自己評価 定期考査
7月・8月	高齢社会を生きる	<ul style="list-style-type: none"> 高齢期を理解する 高齢者の心身の特徴 ＊高齢者疑似体験 これからの高齢社会 	○	○	○	○	<p>a.人生の一時期として高齢期を捉え、自分の将来像として考えようとしている。</p> <p>b.高齢期を取り巻く社会の課題について考え、まとめ発表できている。</p> <p>c.高齢者疑似体験で高齢者の援助必要に気付き、介護の技術を身につけている。</p> <p>d.高齢者の心身の特徴について理解し、社会の課題について考え理解している。</p>	授業観察 ワークシート レポート

8月・9月・10月	食生活を作る	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活の課題について考える ・食事と栄養・食品 *調理実習4回 (9月～11月) ・食生活の安全と衛生 ・これからの食生活 *フードマイレージのワークショップ 	○	○	○	○	<p>a.食事と健康、ライフスタイルに関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b.食事が健康に及ぼす影響に配慮した食生活について、課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p> <p>c.生涯を通して健康で安全な環境に配慮した食生活を営むために必要な栄養、食品、調理の技術を日常食の調理実習を通して身に付けている。</p> <p>d.栄養、食品、調理と環境などについて 実習を中心とした学習を通して、健康で安全な食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。</p>	授業観察 ワークシート 実習 観察 調理実習レポート 発表
11月・12月	衣生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の役割を考える ・被服を入手する ・被服を管理する ・これからの衣生活 	○	○		○	<p>a.人間の生活と衣服のかかわり、衣服の主な機能について理解しようとしている。</p> <p>b.衣服の素材の性能・構成について考え、衣服表示に基づいた適切な洗濯・保管についてまとめている。</p> <p>d.衣服の素材の性能・着心地や構成について理解し、洗濯の特徴を科学的に理解している。</p>	定期考査 冬休みの課題 「ホームプロジェクト」
1月	経済生活を営む	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活を設計する 給与明細の見方 社会保険について ・現代の消費生活 契約について 三者間契約 カードについて ・消費者をめぐる問題 悪質商法 多重債務 *DVD視聴 ・持続可能な消費生活について ・環境問題について 	○	○	○	○	<p>a.生涯を見通した経済計画について考えようとしている。 自立した消費者として行動しようとしている。</p> <p>b.消費者問題の被害の防止や救済について考え、まとめ、発表している。</p> <p>c.消費者行動に関する情報を収集・整理する技術を身に付けている。</p> <p>d.消費者信用について理解し、消費者問題について理解し、知識を身に付けている。 地球環境保全のための行動について理解し、知識を身につけている。</p>	プリント 社会への扉 DVD視聴
	住生活をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・住居の機能と変化 ・平面図を理解する *住宅広告を読む (ワンルームマンション) ・住居の計画 *住居の平面図読み取り (ワンルームマンション) 	○	○	○	○	<p>a.住居と住環境、安全な住生活に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b.住居と家族の生活、安全で環境に配慮した住生活について課題を見出し、その解決をめざして考え、適切に判断し表現している。</p>	プリント 考えてみよう！ 住空間を彩るインテリア 課題 ・平面図読み取り

2 月		<ul style="list-style-type: none"> *インテリアの配置 ・安全で快適な住生活 *エコな住まい方す ごろく ・持続可能な社会 				<ul style="list-style-type: none"> c.安全で快適かつ健康な住生活を営むために、住居の計画や選択に必要な情報を収集・整理する技術を身に付けている。 d.住居の機能について理解し、平面図等を読み取り、主体的に住生活を営むために必要な知識を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レイアウト 環境共生住宅す ごろく振り返り 定期考査
--------	--	--	--	--	--	---	---

※表中の観点について a.関心・意欲・態度 b.思考・判断・表現 c.技能 d.知識・理解

※*印はワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。